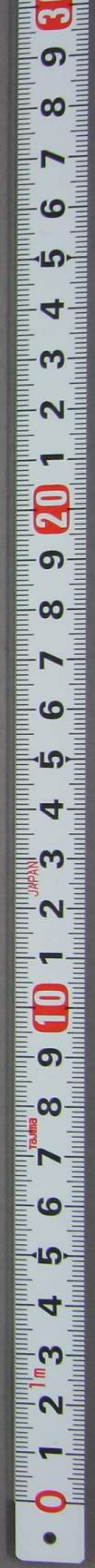




川路寛堂

建議

3150



114
A 3154



大藏省七等出仕川路寛堂謹テ参議兼大藏卿大隈
 重信閣下ニ白ス凡ソ各國其ノ支給ト需要トノ多少ニ依
 テ其輸入ニ増減アルトハ其理昭々乎トシテ而シテ他國
 ノ物産ヲ需要スルト多ケレハ我輸入從テ多ク又我國ノ
 物産他國ニテ需要多ケレハ我輸出從テ多シ是敢テ
 論ヲ待タサルナリ輸入ヲ防クニハ保護ノ稅說アリ輸
 出ヲ盛ニニスルニハ勸農勸工ノ途アリ今我聖明ノ政
 府孜孜トシテ之レニ着手シ其進歩セシモノ枚舉ニ暇
 アラス然リ而シテ其保護ノ稅說タルヤ未夕之ヲ實際ニ
 施スル能ハス(稅權我ニ非レハナリ)其勸農勸工ノ一タル
 ヤ内地ノ物産ハ稍々増殖ノ貌アリト雖モ其外國ノ需
 要ニ至テハ奚ソ知ラン依然トシテ舊ノ如ク或ハ却
 テ之ヲ減シタルモノ多シ其一ニヲ舉レハ曰ク茶曰ク

大正十一年四月
 大隈侯爵邸寄贈

大藏省
絲ナリ茶ハ近年其産々ヲ増殖スレモ其需要唯
米國ニ於ルモノ、ミニシテ而メ舊ニ依テ歐洲ノ需メ
ナシ絲ノ如キハ歐米ニ於テ年々其需要ヲ減スル
最モ甚ニキモノナリト云噫何故ソ斯ク海外ニ於ル我
物産ノ需要少キヤ夫レ需要サナキハ輸々ヲ減スル
ノ基ニシテ而メ宜シク之ヲ察セズンハアル可ラス然
ラハ乃チ需要ヲ増ノ方策果シテ何クニ在ル熟ラ
之ヲ惟ルニ常事ナキノ原因蓋シニツアリ一ハ其物品
ノ粗惡ナル是ナリ一ハ物品ガ普ク各國ノ支給ニ適
セザル是ナリ茲ニ於テヤ其物品ヲ精巧ニシ又製方
ヲ各種ニナシ之ヲ各地ノ好ニ適セシメハ自ラ需要
ヲ増ス一必然ナラニ然リト雖モ其物品ノ精巧ハ如
何ナル高度ニシテ可ナランカ各種ノ製方ハ如何ニ

テ各國ノ好ニ適スヘキヤ夫レ是レ各國ノ風俗時ノ
流行年ノ豊凶ニ依テ其需要ヲ異ニスルモノナレハ
尠モ豫定スルモノナシ例ヘハ英國ニテハ年々茶ノ需要
夥ケレ氏支那製様ノ茶ヲ好ム風習ニシテ日本ノ茶ヲ
需メシ一少ナシ是レ茶ノ性質ヲ異ニスルニ非シテ而メ茶製
方ヲ異ニスルカエヘ同質ノ物ニテ斯ク需要ノ異ル一アレ
ハナリ絲類織物其他百物雜貨ニ於ルモ亦然リ製方
ト作様ニ從テ皆需要ヲ異ニス之ニ由ラ之ヲ觀レハ各國各
地ニ於ル當時ノ風俗當時ノ流行當時ノ豊凶等ヲ
通知スルハ商務ノ至要ニシテ而メ國ノ物産ヲ開キ輸
出ヲ盛ニニスルノ道ナリ然ラハ如何ナル手段ヲ以テ其
商務ノ至要タル各國當時ノ風俗流行豊凶等ヲ通
知シ得ヘキヤ之ヲ得ル敢テ難キニアラザルヘシ曰ラ

温子テ新キヲ知ルトハ古来ノ金言若シ前年ニ於ル
海外貿易ノ景況日本開港場ニ於ルモノヲ云ニ非スヲ按シ假令ハ
前年日本ヨリ輸ヤセシ所ノ物品ハ海外ノ市場ニ於テ各
ノ如何ナル位置ヲ占メシカヲ看ハ以テ今年各国ニ輸
ヤセシトスル所ノ物品ハ如何ニ需要アルヘキヤ又如何
ナル製方作様ニテ可ナラシカヲ推考スルニ足ルヘシ然
リ而シテ前年ニ於ルヲ以テ今年ニ於ルモノヲ考フレハ
其際多サノ時日ヲ經年遷リ時易リ稍モスレハ物時
機ヲ失シ事迂濶ニ涉ルコトアルヘシ茲ニ於テヤ日ニ
月ニ歳ニ各國ノ通信ヲ能クシ郵船電信ノ便ニ依
テ各國市場ノ景況ヲ瞭知シ坐ニシテ萬里外ノ需
要ヲ洞察スルノ他ナシ是レ歐米高賈カ各国各處
ニ於テ互ニ通信者トナル所以ニシテ而シテ各國政府

ニ於テハ領事ヲ各地ニ派遣シ以テ一凡ノ通商ヲ監
督セシメ本国人民ノ海外通商ニ關スル輩ヲ保護ス
ル所ノモノナリ英人ノ諺ニ云知識ハ即チ権力ナリ
ト然ルニ我國人民未タ開明黠度ニ位スルコト能ハサ
ルハ論ヲ不待サレト甚ニイ哉通信報告ノ要ヲ知
ラス又縱令其至要タルコトヲ知ルト雖モ可憐哉通
信報告ヲ博クスルノ方術ナシ何ントナレハ未タ海
外通商ノ法ニ暗ク海外ノ交際ニ狹ク言語文字スラ
互ニ相通スルコトヲ不得ガ故外人ハ誰モ日本人通信者タルコトア
タハス又日本ノ商客海外ニ在テ本國人ノ私報者タ
ルモノアリ此一人ニ過サルノコト是レ日本ノ高賈海
外ノ市場ニ疎ク商業ノ権力ヲ失フノ理ニシテ而シテ敢
テ怪ムニ足ラサルナリ愚嘗テ佛蘭西ニ在リシ片李温

ニ遊ヒ佛國第一ノ生絲市場ニ到リ着ルニ歐羅巴亞
細亞各國ノ生絲見本ヲ布置シテ其市場ヲ開ク
恰モ奠市ニ奠ヲ賣ルカ如シ然ルニ其見本絲ヲ陣
列スルニ當リ歐呂巴産ナルモノハ輸入セル本荷ノ内ヨリ
一二把ヲ採リヤシ此ヲ見本トナス亞細亞産ニテモ土耳
其支那等ノ産ハ見本ヲ採ルノ方法歐産ニ於ルト同
一ナレ氏獨リ日本産ニ於テハ是レニ異リ本荷ノ輸入
スルヤ否之レヲ解キ以テ上中下ノ三等ニ品位ヲ分テ
而シテ市場ニ列スルヲ例トス何トナレハ日本ノ産絲ハ
其造リノ方整頓ノ方各種ニシテ而シテ品位ハ通常粗良
混淆ヲ極ムルカ故ナリ富岡ノ製糸所ニテ製スルモノ
ハ独リ此限ニ非ス我國ニ在ル歐人ノ検査ヲ經テ彼ニ
コニ入ルモノスラ尚如此況シヤ直ニ輸送セルモノオヤ

近來ハ少シク改更ノ姿アルニモセヨ愚又倫敦ノ市街ヲ
觀ルニ絹帛ヲ鬻ク舗店ニ日本絹ト記セル小牌ヲ附
シタル絹帛夥シ驚テ之ヲ問フニ日本ヨリ輸入セル絲ヲ
以テ英國ニテ織リタルモノナリト然リ而シテ其品ハ我
仙臺平又ハ米澤織ト云ルモノニ彷彿トシテ只幅尺ノ
差アルノミ愚如此李温ト倫敦トニ於ルモノト見テ
何故日本ノ人民ハ斯ク高業ニ疎キヤト慨嘆ニ堪ハサリ
シ若シ少シク活眼ヲ以テ百事ニ注意ニ輸出生糸ノ如
キハ造リ方ヲ改メ輸シ絹帛ノ如キハ幅尺ヲ更ヘナハ需
要ヲ増シ商業ヲ盛ニニスヘキニト且夫レ生糸絹帛而已ナ
ラス百物ノ輸シニ於ルモ亦比々トシテ如此ノ類アルヘシ是レ内
地商賈各己ノ業ナリト蚕氏素ト通信ニ道ナク外交ニ狭ク
所謂知識ノナキモノナレハ實ニ不得止又可憐モノナルヘシ

之レヲ詳言スレハ日本ノ高估ハ日本ヨリ輸出セシ物品ノ何レニ
行クヤ又其レハ如何ナル結果ヲ呈セシヤ之ヲ知ルモノ少キカユ
ハ海外各国ノ市場ハ恬ニトシテ顧ルモノナキニ至ルナリ
然リ而シテ日本ノ高估カ後未其海外ニ通信ノ道開ケ
外交ノ廣クナツテ而シテ知識ヲ得ルノ日ヲ坐シテ待ツヘ
キ乎將タ之ヲ如何セン高估各己ノ商業ニ疎ク市場
ニ暗キハ即チ全国ノ損失ナレハ豈之ヲ坐視スヘケン
ヤ然ラハ其方畧他ナシ政府ニ於テ斯ル海外ノ通信ニ
疎キ商民ヲ保護スルニ如何ハナシ其保護トハ何ソソ日
本産物ノ市場アル各處ニ日本政府ノ領事ヲ置キ以
テ日本ニ關スルノ通商ヲ監セシメ且ハ内地人民ノ商
務通信者トナシシメハ其益サナカラスシテ而シテ人民
ヲ護スルノ道ナルハ乎領事ノ職タルヤ一千二百五十

年ノ頃ヨリ伊太利ニ始マリ爾來列國商務ノ盛昌ナ
ルニ從ヒ之ヲ各地ニ布置スルヲ常トシ其專掌ハ商
務ニ關スルノ法制ヲ熟知シ其在雷セル地ニ於ル貿
易ノ景況ヲ本國ニ報シ終テ本國ニ開スル商業ヲ
監スルノ任ニシテ而シテ人民商務社會ノ惣代人トモ云
ヘキモノカ然レハ苟モ國ヲ開キ貿易ヲ興スニ當リ暫
モ欠クヘカテサルモノナリ況ヤ我國ノ如キ外國ノ市
場ニ暗キ高民アルニ於テオヤ方今我國物産ノ輸
出スル方向即チ我國産ノ市場アル要地ヲ奉クシ
ハ曰ク上海曰ク香港曰ク天津曰ク桑港曰ク靛^{ヨルク}靛^{ヨルク}
曰ク馬兒塞曰ク美蘭曰ク巴里曰ク哩嗎堡曰ク倫敦
ナリ其中天下ノ最タル大市場ヲ有シ天下ノ商權十
分ノセテ確シ日本ノ商務ニ於テモ亦其關係至大ナ

ルモノハ独リ倫敦ヲ以テ最トス茲ニ於テ我政府夙ニ
領事ノ必要ナルノ察セシカ曩者上海香港其他ノ五
所ニハ既ニ我領事館ヲ置カレタリ然ルニ宇内ノ物産
輻湊シテ大市場ヲ開ク世界ノ大都ナル彼ノ倫敦ニハ
何故ソ我領事ナキヤ蓋シ我公使ノ在ルコトナレハ傍ヲ
公使ヲシテ領事ノ事務ヲ掌サトラシムルコトナルヘシ然
リト虽モ元ト公使ト領事トハ其職掌判然タルノ別ア
ツテ互ニ相侵スコトアタハサルモノナリ且ツ夫レ公使ハ
其位置高等ナレハ宣市場ニ出沒シテ商務ヲ監シ物
價ヲ探リ商人社會ノ惣代人タルヲ得ニヤ愚今我國
商務ノ進歩ト物産ノ盛大ナルヲ希望シテ而シテ竊カニ
願クハ我政府新タニ倫敦府ニ於テ領事ヲ置キ宜
ニク其職任ヲ盡サシムヘシ且公使ヲシテ惣領事トシ

兼任セシメテ領事ノ事務ヲ総監セハ必ラス我官民ノ
鴻益アルヘシ倫敦ハ世上貿易市ノ中心ニシテ其市場
ハ喜ニ英國ノ需要品物ノミナラス宇内ノ需要物産
賣買アルコトナレハ坐ニシテ其近傍ナル哩嗎堡或ハ巴
里ニ於ル貿易ノ景況ヲモ洞察スルハ容易ニシテ而シ
實際ニ於テハ三處ノ領事ヲ兼攝スルカ如キモ豈難
カル可ケン何ヲカ其鴻益ト云前ニ陳述セシ如ク方
今我領事ハ眼ヲ張テ我國ニ関スル商務ヲ監シ本
國人ヲ保護シ未航スル本国船舶ノ多ク周旋ヲナシ
不遠我相章ノ英國ニ航スルアレハナリ且ツハ本国官
民ノ通信者トナリ年々商務ノ景況ヲ政府ニ報
告スルハ勿論ニシテ而シ毎時ノ郵船或ハ電報ヲ
以テ我物産ノ市場ニ於ル需要ノ多サ及ヒ價程其

他其製様流行ノ變易等其詳細ヲ先ツ政府ニ通信
セシメ大蔵内務兩省（管商事務局ノ設置アレハ
ハトオフトレシムルコトナリ）即チ其局ノ擔當ヲリニ於テ毎年毎時報告ヲ得ル
ヤ否之ヲ鑒取ニ附シ（通商回信ト名ケ以テ全國ノ諸問
ニアルニシテ）屋商人（農業家并ニ製造家ヨリ物産ヲ引受ケ大ニ
賣リ捌クモノヲ云）并ニ各製造家（凡百ノ物産ヲ製
造スルモノヲ云）ル者ニ分與シ我國產ノ海外市場ニアル其景况如何
又如何ナル物品カ各國ノ需ニ應スヘキ乎ヲ知ラシムヘシ蓋シ
問屋商人并ニ製造家等ハ各所ニ散在セルモノエハ
冀クハ各府縣ニ市街アリ物産アルノ地ニ於テ（商務
會所ヲ設ケ其地ノ最タル商人并ニ製造家ヲ以テ
オフコニメス）此會所ノ社負ヲラシメ斯ル通商回信ヲ官府ヨリ此
會所ニ送致シ而シテ各負ニ分與セシメハ極（簡
便）

ニテ其益大ナルヘシ（管商事務局及ヒ各府縣商務會所
ナシク卑見アレハ本誌ノ枝葉ニ涉レハ
茲ニ贊
セズ）然リト雖モ若シ當時其商務會所ノ設置等ヲ
ナシ難キトアレハ暫ク變通シテ通商回信ノ分附等
ハ官省ヨリ府縣廳ニ送り然メ之ヲ各市街ノ板所ニテ
擔當スルモ可ナラニ乎宜ニク其適宜ニ處スヘキモノナ
リ以上ニ論述スル所ハ商業ノ景况ヲ報告セシメ以テ官
民兩ナカラノ指針トナル至要ノ件ニシテ而シテ領事ノ專
任タルヘキモノナレバ其他倫敦ニ領事ヲ置ク夕メ官府ノ
利益ハ數フルニ暇ナシ其畧ヲ奉レハ年々諸官省ヨリ
各國ニ注文スル買上物産ヲ領事ニ附托スルト是ナリ何
ントナレハ諸官省（海陸軍ヲ始メ諸官省
文武ノ器具ヲ云）ノ物産（海陸軍ヲ始メ諸官省
文武ノ器具ヲ云）トシテ年
年輸入スルモノ、海關計表ニ著ハル、トハ平均一百万
弗有餘ニシテ而シテ其他我國在雷ノ外國人ニ余セルモ

幾何アル乎ヲ知ラス是レ殆ント皆教人ノ手ヲ経テ后
来ルモノニシテ而ノ其手ヲ経ル時ニ蒸通ノ牙銀ヲ有
フモノナリ若シ今ニ政府其年ニ購求スル官用品ノ半ハ
ニテモ(從來ノ定約等アツテ今急ニ改メ難キモノアルモ知
ヘカラス依テ茲ニ年ニ購求ノ半ハト云ヤリ)之ヲ領事ニ
余ニ直チニ輸入セハ教人經手ノ牙銀ヲ省ニ所謂徒費
ヲ各ル第一ト云ヘシ然シテ其官用購求ノ物品ハ英國
ヨリ輸入シ来ルモノ恐クハ付ノ六七ニ居ル故ニ若シ倫敦
ニ在ル領事ニテ此等ノ事務ヲモ擔當セシメハ其益無
量ナルハ論ヲ不待ナリ領事ハ久シク一處ニ在雷シ(公使
ハ時々更替アルニモセヨ)其地ノ事情ニ熟知シ商務ノ緩
急ヲモ通信スヘキモノニシテ倫敦ノ如キハ實ニ至要
ノ地ナレハ特更ニ能ク之ヲ注意シ彼レヨニ止ルヲ少クテ

七八年(一時政府ヨリ派スル理事官等トハ大異ニ何ト
ナレハ理事官ハ政府ノタメ一事件ヲ整理スルノ任ニシ
テ而ノ普ク人民ノ通信者タルヘキモノニ非ス)普ク物産
及ヒ貨幣國債等ノ市場ヲ窺ヒ諸銀行并ニ諸商會
其他海關等ニヤ浸シ其面目ヲ高高ニシ博ク交際ヲナ
シ常ニ耳目ヲ貿易社會ニ從事セシメ然シテ又若シ我
政府自ラ國債券ヲ買ヒ上ケ或ハ非常興業ノタメ新債
ヲ起スノ一等アレハ國余ヲ奉シ時機ヲ考ヘ熟ク之シ
カ基礎ヲナスモ敢テ難キニ非ス此他此類ノ益アル實
ニ少ナカラスト云ヘキ哉之ニ由テ之ヲ觀レハ今新タニ
倫敦ニ領事ヲ置クハ縱今年ニ幾何欣ノ費用アリ
ト云モ其鴻益ヲ得テ之ヲ償フニ餘アリ夫レ歳費ヲ
省ス僅ニニシテ而メ政府ニハ理財上ノ耳目トナリ全

国ニハ物産ノ海外ニ於ル需要ヲ増スノ媒ニナシ加之ニ官
府ノ歳費ヲ省クハ大ナルニ至ルヘシ此又ニ倫敦在留ノ
領事ハ至要ノ地位ニシテ而シテ實ニ之ヲ闕ク可カラサル
モノナリ冀クハ我政府ノ之レニ着意アラントシテ愚屢
贅言ヲ述ヘ拙文ヲ綴リ以テ 閣下ノ察覽ヲ煩ス
其罪實ニ免レ難シ然リト雖モ素ヨリ名利ヲ釣ルニ
非ス只愛國ノ至情之ヲ黜止ニ難ク尚卑見ヲ上陳ス
閣下幸ニ夫レ之ヲ察セヨ

明治八年十一月

